議員活動の目標（公約）

この「議員活動の目標（公約）」は、2年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

評価期間：令和３年８月～令和　５年７月

所属委員会・役職名	在職年数	氏　　名	年齢
議会運営委員会委員 産業厚生常任委員会委員長 広報公聴常任委員会委員	2	川　﨑　祐次郎	64

項　　目	具体的な目標項目
1. 行政分野の取り組み	行政運営と財政運営は、表裏一体のものであることから財政計画に裏打ちされた行政運営であることが重要。常に、費用対効果と町民の福祉向上の考えを踏まえ活動する。
2. 財政分野の取り組み	固定資産税などの自主財源に乏しく、積み立ててきた基金を取り崩しながらの厳しい財政状況にある。人件費などの経常経費をできる限り抑制し、日常生活を継続して支えられる財政の仕組みを行政とともに検討していく。
3. 経済分野の取り組み	新型コロナウイルスの感染拡大により、低迷している町内経済の回復と農林業への支援策を将来的な視点で調査研究し、行政に対し提案していきたい。
4. 福祉分野の取り組み	従来型の子育て支援策の検証を行うとともに、町民から今求められているニーズとは何かを研究し、行政に提案していきたい。
5. 教育分野の取り組み	令和3年から情報通信技術を導入した教育が開始された。今後は、こうした技術革新を踏まえた教育行政が当たり前となるが、子どもたちと親と教師が連携して誰一人取り残されない「飯豊町の教育」の確立ため活動する。
6. その他の取り組み	第三セクターの健全なあり方の検討を継続して行うよう努めたい。